

「太陽光発電の現状と課題」(概要)

太陽光発電の国内外の現状を調査した。日本は10年前まで、世界でも先導的に再生エネルギーの開発を進めたが、ここ3-5年は中国、米国等に後れを取る。国の目標は高いが、現状のシリコンの方式では平地における単位面積当たりの太陽光発電設備容量は世界で最も高く限界がある。他にも太陽光発電に関する訴訟があり、廃棄時の問題が予想される。早い時期にペロブスカイト太陽光発電等への転換が迫られている。この方式も中国他に数年の遅れをとっている。

2030-2050年と時機を見てカーボンニュートラルの見地から課題が多いが、石化燃料は枯渇の問題があり、再生エネルギーへの転換は必須と思われるが、否定的な意見もある。
